



2023年4月

居住者の皆様へ

Asahi Monthly Report

防災訓練の重要性

日本は自然災害の発生件数が多い国です。自然災害を想定して、保存食や衣類、携帯トイレを始めとした防災用品・セットの確保や、ハザードマップを活用した避難経路のチェックだけでなく、平時より防災訓練を行い、迅速な行動がとれるよう防災意識を養う必要があります。

防災・減災を実現するためには、災害時を想定したシミュレーションを行い、いざという時に迅速な初動対応ができるよう、1人ひとりが必要な手順を学ぶ必要があります。

そこで役に立つのが、管理組合や自治体を実施する「防火防災訓練」です。大規模自然災害による被害を減らし、大切な命を守るためには、消防・警察・自衛隊による「公助」だけでなく、家族による「自助」、近隣住民による「共助」が欠かせません。

今月は、広く実施されている防災訓練の種類についてご紹介します。

- 避難誘導訓練：避難誘導訓練とは、地震・火事などの災害時を想定し、周囲の安全確認や、建物内からの避難行動をシミュレーションする訓練です。
- 初期消火訓練：火災発生時の初期消火の手順を学ぶのが、初期消火訓練です。初期消火が可能な時間は短く、火が天井に燃え移った段階で消火器の使用が困難となるため、迅速な初動対応が欠かせません。
- 応急救護訓練：応急救護訓練では、AED（自動体外式除細動器）の使い方や、胸骨圧迫や人工呼吸といった心肺蘇生法の手順を学びます。
- 救助訓練：救助訓練では、負傷者の救出や搬送の手順をシミュレーションします。

人が集まりにくい状況下、昨今ではネットによる防災訓練も開催されています。
積極的に防災訓練に参加して平時より防災意識を養いましょう！！